

失敗しない アライナー矯正

編集委員

常盤 肇 (東京都・常盤矯正歯科医院)

文野 弘信 (東京都・文野矯正歯科)

榎 宏太郎 (昭和大学歯学部 歯科矯正学講座)

詳しい
情報は
こちら

トラブルなく治療を進めるための 「基本」と「応用」を徹底解説!

アライナー型矯正装置を用いた矯正治療(アライナー矯正)は、患者はもちろんのこと、歯科医師にも多くの恩恵をもたらす治療方法であり、今後ますます需要が高まっていくと思われまふ。一方で、この治療方法にかかわるクレームやトラブルが増えているという一面もあります。歯科医療従事者として、安全で確実なアライナー矯正が強く求められています。

そこで本増刊号では、アライナー矯正のメリット・デメリット、診査・診断、適応症の見極め、基本手技、リカバリー方法といった、基本から応用までを網羅しました。「失敗しないアライナー矯正」に欠かせないスキルアップと知識のアップデートに必須の1冊です。

A4判変型・168頁・オールカラー 本体5,600円+税



序章 アライナー型矯正装置を 応用したい症例

第1章 矯正治療の基礎知識

歯科矯正学の歴史
矯正歯科治療の基本
矯正歯科治療における偶発症とは

第2章 アライナー矯正の現状と未来

アライナー矯正の基礎知識
ワイヤー矯正との違い、予測実現性
矯正歯科臨床におけるインハウス・シリーズ
— サーマフォーミング・アライナー —

第3章 矯正治療の検査・診断

一般的な検査
セファロ分析
模型分析
顔の診かた

第4章 アライナー矯正の適応症

GPのための部分矯正(MTM)の適応症
非抜歯矯正の適応症
抜歯矯正の適応症

第5章 アライナー矯正のマネジメント

セットアップシミュレーター
CBCTを応用したセットアップの一例
初回の注意点

他

第6章 不測の事態への対応法

補助的装置の使用法
臼歯離開への対応
アンフィットへの対応

他

第7章 症例

インプラントと矯正が絡む症例におけるアライナー矯正の活用例
補綴臨床におけるアライナー矯正の応用症例
アライナー矯正を用いた前歯部インプラント治療

他